

特定非営利活動法人 日本バイオインフォマティクス学会
第 24 回理事会議事録

日時 2021 年 3 月 15 日(月)13:00～17:00
場所 オンライン
出席者 岩崎渉理事長、五斗進副理事長、荻島創一理事・幹事、尾崎遼理事・幹事、木下賢吾理事・幹事、白井剛理事・幹事、竹本和広理事、田村武幸理事、元池育子理事、藤渕航理事、山西芳裕理事・幹事、大上雅史理事・幹事、大林武理事・幹事、鎌田真由美理事・新地域部会長、木下聖子理事、佐藤健吾理事、清水謙多郎理事・幹事、遠里由佳子理事、長井陽子理事、松田秀雄理事、武藤愛理事・幹事
(表決書提出) なし
以上 21 名出席扱い
オブザーバ 渋谷哲朗監事、松井求監事、遠藤俊徳地域部会長、中川博之地域部会長、池松真也地域部会長、浜田道昭幹事、笠原浩太幹事、松本拓高幹事、齋藤裕幹事、奥田修二郎幹事、浅井潔新理事、有田正規新理事・幹事、清水佳奈新理事、福永津嵩新理事、根本航新監事、水口賢司新幹事、森田瑞樹新地域部会長、事務局総務牛山絵美子
議長 岩崎理事長(定款 35 条による)

配布資料

会長報告(2年間を振り返って)

議事次第

(審議事項参照資料)

別紙 s1.1 2020 年度事業報告書

別紙 s1.2 2020 年度財産目録

別紙 s1.3 2020 年度貸借対照表

別紙 s1.4 2020 年度活動計算書

別紙 s1.5 2020 年度計算書類の注記

別紙 s2.1 2021 年度事業計画案

別紙 s2.2 2021 年度予算案

別紙 s3 理事会審議事項(第 3 号議案～9 号議案)

(報告事項参照資料)

別紙 h1.1 年会幹事 2020 年年会開催報告

別紙 h1.2 年会幹事 2021 年年会開催計画

別紙 h2 会計幹事 JSBi 口座開設(ネット銀行)

別紙 h3 認定試験幹事 2020 認定試験実施報告

別紙 h4 研究会幹事 研究会開催報告

別紙 h5 ニュースレター幹事 報告

別紙 h16 総務 会員数、ホームページビュー数、メーリス利用状況、年間業務一覧

別紙 h17 会長 メール審議議事録

別紙 h21 関西地域部会 開催報告

別紙 h25 質量分析インフォマティクス研究会

岩崎理事長、五斗副理事長より第 24 回理事会開催にあたって挨拶があり、議事録署名人として尾崎理事、五斗副理事長が指名され、満場一致で承認された。

議案

〈審議事項〉

第 1 号議案 2020 年度事業報告および収支決算の承認

大林理事・幹事より別紙 h1.1-h1.5 を基に 2020 年度事業報告および収支決算について報告が行われた。慎重な審議の結果、2020 年度事業報告および収支決算は全会一致で可決され、総会に議案として付議することが承認された。特に、大林理事・幹事よりバイオインフォマティクス技術者認定試験は 2021 年に開催したため、2020 年度の事業報告に含めず 2021 年の事業に加えることになったこと、山西理事・幹事より年会収益については新型コロナウイルス感染症の影響で現地開催からオンライン開催に変更になったこと、年会の会場代金のキャンセル費用などが不要になったこと、またオンライン開催の外部委託を試みるも結果として年会委員会にて対応することになったこと、多くの参加者に恵まれたことなどによって黒字となったことが報告された。最後に、渋谷哲朗監事、松井求監事より 2020 年度監査報告の説明があり、決算関連資料に問題ないことが報告された。また、事務局と認定試験事務局の人件費の計上についても、今後検討していくことが良いとの意見があった。

第 2 号議案 2021 年度事業計画および収支予算の承認

大林理事・幹事より別紙 h2.1、h2.2 を基に 2021 年度事業計画および収支予算について報告が行われた。慎重な審議の結果、2021 年度事業計画および収支予算案は全会一致で可決され、総会に議案として付議することが承認された。特に、大林理事・幹事より 2021 年度は JSBi ホームページのリニューアル費用を計上していることを除き、例年通りの計画となっていることが報告された。

第 3 号議案 定款の変更

岩崎理事長より、別紙 s3 を基に定款について以下の通りに改正したい旨が説明された。

3.1 定款第 13 条 3 の削除

議長は、これを議事に諮ったところ、出席した会員の議決権の過半数を持って異議なく可決決定され、総会に議案として付議することが承認された。

【削除】

理事長及び副理事長は理事を兼ねるものとする。

3.2 定款第 16 条 1 の変更

議長は、これを議事に諮ったところ、出席した会員の議決権の過半数を持って異議なく可決決定され、総会に議案として付議することが承認された。

【旧】

理事の任期は、2年とする。3期連続して選出されることはできない。

【新】

理事の任期は、2年とする。

3.3 定款第 16 条 2 の変更

議長は、これを議事に諮ったところ、出席した会員の議決権の過半数を持って異議なく可決決定され、総会に議案として付議することが承認された。

【旧】

理事長並びに副理事長の任期は 2 年とし、1 回に限り再任を認める。ただし、再任の場合の任期は 1 年とする。

【新】

理事長並びに副理事長の任期は、2 年とする。

3.4 定款第 20 条の変更

議長は、これを議事に諮ったところ、満場一致を持って異議なく可決決定され、総会に議案として付議することが承認された。

【旧】

この法人に、事務局長その他の職員を置く。

【新】

この法人に、事務局長その他の職員を置くことができる。

3.5 定款第 38 条の追加、ならびに同条以降の条番号の繰り下げ

議長は、これを議事に諮ったところ、満場一致を持って異議なく可決決定され、総会に議案として付議することが承認された。

【新】

理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき理事総数（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の過半数が書面又は電磁的方法をもって同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

3.6 定款第 38 条（繰り下げにより 39 条）3 の追加

議長は、これを議事に諮ったところ、満場一致を持って異議なく可決決定され、総会に議案として付議することが承認された。

【新】

前 2 項の規定に関わらず、前条の方法により理事会の決議があった場合においては、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

- (2) 前号の事項の提案をした者の氏名
- (3) 理事会の決議があったものとみなされた日
- (4) 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

第4号議案 登記住所の変更

岩崎理事長より、別紙3を基に登記住所の変更について議事に諮ったところ、満場一致を持って異議なく可決決定され、総会に議案として付議することが承認された。

主たる事務所の移転について、2021年4月1日より東京都文京区弥生 2-11-16 から東京都文京区大塚 5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル 4F 一般社団法人 学会支援機構内とする。

第5号議案 役員の選任

5.1 岩崎理事長は、2021年3月31日付での理事長の任期満了に伴い、細則第3条に基づき、五斗進副理事長を理事長に選任することの承認、および、細則第2条(5)に基づき、理事長の理事としての任期が、理事長の任期よりも先に終了してしまうことに伴う新理事候補者1名の承認について議事に諮ったところ、出席した会員の議決権の過半数を持って異議なく可決決定され、被選任者は、いずれもその就任(就任日2021年4月1日)を承諾したため、総会に議案として付議することとした。

5.2 岩崎理事長は、総会に先立って本日13時より行われた、2021年3月31日付での任期満了に伴い、副会長選挙の報告を行った。当法人の定款第14条および細則第4条に基づき、理事、および新理事候補者合計24名による会長選挙の投票の結果、山西芳裕が過半数を獲得し副会長に指名された。山西芳裕を選任することを議場に諮ったところ満場一致をもって意義なく可決決定され、被選任者はその就任(就任日2021年4月1日)を承諾したため、総会に議案として付議することとした。

5.3 岩崎理事長は、理事10名が2021年3月31日に任期満了となるため、その改選について議場に諮ったところ、当法人の細則第2条に定める選挙(2021年1月15日～2月1日実施)により選出された新理事候補者10名が、満場一致で選任され、被選任者は、いずれもその就任(就任日2021年4月1日)を承諾したため、総会に議案として付議することとした。改選される理事氏名は下表にまとめた。

2021年3月31日に任期終了となる理事10名		2021年4月1日に就任する理事11名	
荻島 創一	尾崎 遼	浅井 潔	有田 正規
木下 賢吾	五斗 進	荻島 創一	尾崎 遼
白井 剛	竹本 和広	木下 賢吾	五斗 進
田村 武幸	元池 育子	清水 佳奈	白井 剛
藤渕 航	山西 芳裕	竹本 和広	福永 津嵩
		山西 芳裕	

5.4 岩崎理事長は、監事 渋谷哲朗、松井求が2021年3月31日で任期満了につきその改選方を議場に諮ったところ、満場一致をもって、松井求、根本航が監事に選任され、被選任者はいずれもその就任(就任日2021年4月1日)を承諾したため、総会に議案として付議することとした。

第 6 号議案 名誉会員の承認

岩崎理事長は、第 23 回理事会にてすでに承認済みであることを説明し、お詫びとともに本議案を取り下げた。本議案はそのまま 2021 年度通常総会に議案として付議することとした。

第 7 号議案 細則の変更の承認

岩崎理事長より、別紙 s3 を基に定款について以下の通りに改正したい旨が説明され、これを議事に諮ったところ、出席した会員の議決権の過半数を持って異議なく可決決定された。

【旧】

投票は1人1票、無記名による 5 名連記とし、原則として電磁的方法または書面の郵送によるものとする。同一候補への複数投票は 1 名として扱い、誤記は選挙管理委員が投票者の意図を明確に判断できる場合は許容する。

【新】

第2条(3) 投票は1人1票、無記名による 5 名連記とし、原則として電磁的方法または書面の郵送によるものとする。同一候補への複数投票は 1 名として扱い、誤記は選挙管理委員が投票者の意図を明確に判断できる場合は許容する。任期1年目の理事、および、再任の任期2年目の理事への投票は、当該者に対する投票のみ無効とする。

第 8 号議案 幹事の承認(JSBi Bioinformatics Review 幹事・総務幹事の新設も含む)

岩崎理事長より、2021 年度の幹事について以下の提案があり、満場一致で意義なく可決された。また、年会長の決定については、年会開催規定第 4 条 2 に基づき、原則として開催年の2年前の年会までに理事会において決定することが改めて確認された。

会長補佐:岩崎渉、木下賢吾

総務:岩崎渉

年会:木下賢吾、浜田道昭(2021 年大会長)、水口賢司(2022 年大会長)

会計:大林武、笠原浩太

認定試験:白井剛

研究会:岩崎渉

ニューズレター:尾崎遼、松本拡高

JSBi Bioinformatics Review:松本拡高、尾崎遼

ダイバーシティ推進:武藤愛

ISCB:岩崎渉

若手:大上雅史

渉外:浜田道昭

連携:荻島創一、鎌田真由美

広報:齋藤裕

人材育成:有田正規、白井剛

活性化:奥田修二郎

個別化医療推進:木下賢吾

Genome Informatics:五斗進

第9号議案 地域部会部会長の承認

2021年度の地域部会長について岩崎理事長から以下の提案があり、満場一致で意義なく可決された。

遠藤俊徳(北海道大学大学院情報科学研究院)北海道地域部会

木下賢吾(東北大学大学院情報科学研究科)東北地域部会

鎌田真由美(京都大学大学院医学研究科)関西地域部会

森田瑞樹(岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科)中国・四国地域部会

山西芳裕(九州工業大学大学院情報工学研究院)九州地域部会

池松真也(沖縄工業高等専門学校生物資源工学科)沖縄地域部会

〈報告事項〉

【各幹事、会長、総務からの報告】

1 年会(五斗副理事長・幹事、山西理事・幹事、浜田幹事、木下 理事・幹事)

山西理事・幹事より別紙 h1.1 に基づき、2020 年度年会開催報告があった。

浜田幹事より別紙 h1.2 に基づき、2021 年度年会開催計画が報告された。特に、オンライン開催になったことから、参加費を変更したことと、現地実行委員会を新設したことが報告された。また、理事・監事・幹事からスポンサー企業の紹介をして欲しい旨のお願いがあった。ジャーナルトラックの導入については今回は見送ることにしたが、今後検討していきたいことが報告された。また、オンライン開催にあたり、最適なプラットフォームについての話し合いがあった。

2 会計(大林理事・幹事、笠原幹事)

大林理事・幹事より、別紙 h2 に基づき、年会委員会の会計の効率化を図るため、新たにネット銀行(GMO あおぞらネット銀行)を開設したことが報告された。

3 認定試験(白井理事・幹事)

白井理事・幹事より、別紙 h3 に基づき、2021 年度のバイオインフォマティクス技術者認定試験の開催報告があった。特に、白井幹事からはバイオインフォマティクス入門の改訂版出版について検討していることが報告され、執筆協力の依頼があった。また、認定試験事務局の謝金等も検討した方が良いことが報告された。有田新理事から、民間企業との連携を検討しており、それには認定試験事務局の専任スタッフが必要との報告があった。大林理事・幹事より受験料の表記について、不課税ではなく、内税と表記に修正するよう指摘があった。岩崎理事長より、認定試験事業は学会として重要な事業として認識しており、国家資格にするためであれば、学会として然るべきサポートも行うことが述べられた。

4 研究会(岩崎理事長・幹事)

岩崎理事長・幹事より、別紙 h4 に基づき、公募研究会の開催報告があった。

- 5 ニュースレター(尾崎理事・幹事、松本幹事)
尾崎理事・幹事より、別紙 h5 に基づき、ニュースレターと JSBi Bioinformatics Review に関する報告があった。特に、2021 年 8 月に発行予定の第 40 号ニュースレターの特集について意見が求められた。また JSBi Bioinformatics Review の全文 PDF・全文 HTML のアクセス数が同程度となっており、両方の掲載方法で引き続き進めたいと報告があった。最後に有田新理事・幹事より改訂版発行を予定している書籍『バイオインフォマティクス入門』と連動(JSBi Bioinformatics Review のサマリーを書籍に記載するなど)できないかと提案があり、引き続き検討を進めることとなった。
- 6 ダイバーシティ推進(武藤理事・幹事)
武藤理事・幹事より、現在オブザーバー加盟学協会として参加している男女共同参画学協会連絡会について、3年後に正式加盟学会になるよう制度が変更されたことが報告された。また、任期付若手研究者の育児休業取得について制度的に制限がある問題について男女共同参画学協会連絡会の「提言・要望書」に追加することを目指し、アンケートワーキンググループへの学会としての関与を継続していることが報告された。
- 7 ISCB(岩崎理事長・幹事)
岩崎理事長・幹事より、第 23 回理事会にて報告した 2023 年に開催予定のアジアとして大規模な国際会議「Asian Superconference 2023(仮称)」について、新型コロナウイルス感染症のため、一時ペンディング中であることが報告された。また、現在 ISCB のボードメンバーおよび ISMB の Proceeding Area Chair を務めており、さらに JSBi からの存在感を高めていくために協力して欲しい旨の依頼があった。
- 8 若手(大上理事・幹事)
大上理事・幹事より、今年度の Oxford Journals - Japanese Society for Bioinformatics Prize の積極的な受賞候補者の推薦のお願いがあった。また、OJP 社との交渉により 2020 年度は現金 3 万円ではなく、250 ポンド分 OUP books vouchers を贈ってもらえることとなったことについて報告があった。岩崎理事長より、OJP 社の名前を冠した賞を継続することが重要であり、先方の提案を基本的に受け入れる方針で進めるのが良いとの意見があった。
- 9 渉外(浜田幹事)
特に報告はなかった。
- 10 連携(荻島理事・幹事)
荻島理事・幹事より、2021 年度 4 月より鎌田真由美理事に引き継ぎを進めることが報告された。また CBI 学会と研究会レベルでの交流を検討していることが報告された。
- 11 広報(齋藤幹事)
齋藤幹事より、ホームページリニューアルに関する報告があり、3 月中は移行期間として徐々に改善していることが報告された。また、アウトリーチページ(BI ってなに?)と、研究室検索のページ(バイオインフォマテ

ィクス研究室検索)を新規で作成したことが報告され、ホームページの不具合・改善要望について3月中に連絡して欲しいという依頼があった。

- 12 人材育成(有田幹事、白井理事・幹事)
有田新理事・幹事より、バイオインフォマティクス技術者認定試験を公認資格にするための経済産業省との交渉について、引き続き進めていることが報告された。
- 13 活性化(奥田幹事)
奥田幹事より、会員を増やすためには、メリットの向上と明確化、オンラインの教育セミナーなどでバイオインフォマティクスについて知ってもらうことが重要であることが報告された。
- 14 個別化医療推進(木下賢吾理事・幹事)
木下理事・幹事より、がんゲノム医療推進コンソーシアム運営会議について情報提供があった。
- 15 Genome Informatics(岩崎理事長・幹事)
特に報告はなかった。
- 16 総務報告(岩崎理事長)
岩崎理事長より別紙 h16 に基づき、会員数等の基本情報について報告があった。特に、認定試験の特典利用者を加えた合計が賛助会員を含め 781 名となり、記録史上最多となっていることが報告された。また、ホームページビュー数は認定試験に関するものが多いこと、ML 利用状況、総務事務局の年間業務一覧について改めて報告された。
- 17 会長(岩崎理事長)
岩崎理事長より、別紙 h17 に基づき、理事メール審議議事録(2020 年 8 月～2021 年 3 月)について報告があった。
- 18 会長補佐(木下賢吾理事・幹事、清水理事・幹事)
木下賢吾理事・幹事より、事務局を学会特有の作業を担当する総務と学会の法人・会計・会員管理などの業務の外部委託化に切り分けたことで、学会運営が改善されたとコメントがあった。清水理事・幹事より、会計幹事の尽力により会計がとて改善されたとコメントがあった。

【地域部会長からの報告】

- 19 北海道地域部会(遠藤地域部会長)
特に報告はなかった。
- 20 東北地域部会(木下地域部会長)
特に報告はなかった。

- 21 関西地域部会(中川地域部会長)
中川地域部会長より、12月4日に開催された第29回バイオメディカル研究会「With コロナ時代の創薬」について、別紙 h21 に基づき報告があった。特に、講演資料を JSBi 会員へ共有したことが報告された。2021年4月より鎌田理事が関西地域部会長になることが報告された。
- 22 中国・四国地域部会(妹尾地域部会長)
森田新地域部会長より挨拶があった。
- 23 九州地域部会(倉田地域部会長)
山西新地域部会長より挨拶があった。
- 24 沖縄地域部会(池松地域部会長)
池松地域部会長より、別紙 h24 に基づき、2020年10月3日から合計8回に渡り開催されたバイオインフォマティクス人材育成講座が先日完了したとの報告があった。
- 25 公募研究会 質量分析インフォマティクス研究会(山本博之先生)
岩崎理事長より、2020年8月7日(木)に開催された質量分析インフォマティクス研究会・第5回ワークショップ in 京都について、別紙 h25 を確認した。

以上

以上により議事が終了し、議長は 17 時 00 分閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするために、議長および議事録署名人において次に記名押印する。

2021年3月15日

特定非営利活動法人日本バイオインフォマティクス学会

理 事 長 岩崎 渉 印

議事録署名人 尾崎 遼 印

議事録署名人 五斗 進 印